第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査 田紙 (一郎)

			1及	平田 11 円 17	11 (一般)				
	エントリー部門		所属			東洋	大学		
	一般部門			(フリガナ	-)	3	カン		
予選飛行順	決勝飛行順	登録 No	機						
		00	一 体 名			*	完		
		22							
				機体諸	元				
植	行機 転翼機(主回転 行船(浮揚ガス)								
全 長			810) mm		A III B		CHAN !	1
全 幅									. 1311-
全高	全				1				
[8×8] →[8×3	ラの変更 5, 4.3g] 3.8, 7.1g] Pを用いて薄型	の主翼を製作	し, 但	シーノル	ズ領域で	の飛行性能の	の向上を実現	Lさせる.	
空虚重量		19)4 グラ	ラム 注1 注2	: 離陸重量 : 飛行船の	むから救援物資の場合はヘリウム	とペイロード <i>0</i> ム浮力を除く.	の重量を除い	た重量.
バッテリー	種類: ☑	Li-Po, □	Ni-Co	l, 🗆 N	Ni-MH,	□ Li-Fe	セル数:	2	セル
重心位置 (救援物資除く)	(機首先端)を基準に	i., ()	機尾)	方向へ(210) mm		
	責と翼面荷重 よガス容積を記	主翼面積載)	E :			dm²,翼面荷 ス容積:	重:	10.64 グラ	ム/dm² m³)
C	発までの期間:	約 3		週間	計論。	練習総飛行時	TSC Freeze and Share in	20	時間

			審査結果	, _ ,	
	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	7 7217	0 (03)114	
種類	2) オリジナル性 ○×				
重	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り付け不良等
/3	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられないか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立•装備状態安全 性 ○×				クラック,接着不良,取り付け不良.リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機能 ○×				
7	推進系統全開,フル操 作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問題が無いことを確認.
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査 田紙 (一郎)

					1茂14	番 金 用 紙 (一般)			
	J	ニントリー部門	1						
					所属	崇城大学			
		一般部門							
		河文目的 1				(フリガナ) テクニカ/	コデレノカ		
						(29,07) 72-00			
予選	飛行順	決勝飛行順	登録	k No	機体				
					名	空中分解			
	2								
	ı				<u></u>	幾体諸元			
		行機							
種		転翼機(主回軸	云翼を重	力 駆動	うしないも				
類	の)								
	□ 飛	紆船(浮揚ガス	スはヘリ	ウムガ	うに限る	5)			
全				7	1 0 mr	m			
長				•	1 0 1111	11			
全幅 72					2 0 mr	n			
						-			
全高				2	3 0 mi	n			
111									
	生と低速 重量	性・高速性を	追求し		翼を採用 2 グラム	注1:離陸重量から救	接物資とペイロードの重量を除いた重量		
						注2:飛行船の場合は			
	テリー	種類: x	Li-Po,	□ N	Vi-Cd,	□ Ni-MH, □ I	i-Fe セル数: 2 セル		
	が位置 対資除く)	(機首)	を基準	生に, (尾部) 方向へ (28	0) mm		
	:飛行船	と翼面荷重 はガス容積を 載)	記	翼面積	: 20.	8 dm²,翼面荷重: (ガス容			
,							OSE CONCLUENT. USELENCE.		

試験・練習総飛行時間: 約

時間

10

17週間

全計画から開発までの期間: 約

			審査結果	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	機体審査項目	 練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	7.2	0 (3)11.4	
種類	2) オリジナル性 〇×				
2 重量	空虚重量 (飛行船は最大長) 注: 離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用,クラック,接着・取り 付け不良等
	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良.リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) 〇×				ラジコン専用周波数
6 ##	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 〇×				
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで、全機機能し、安全上の問 題が無いことを確認.
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 ○×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (二般)

		1/2011	r·田	1/11(河文/							
	エントリー部門 一般部門]		所属				山口大学			
	, , , , ,				(フリカ	·ナ)					
予選飛行順	決勝飛行順	登録	No	機体			<u> </u>		100		
3		2	4	名				ンバス 2	200		
				7	機体	諸 元					
植	終行機 転翼機(主回転 終行船(浮揚ガス)						81		Nines, Sept		
全 長 全 幅	114	45			mm		31		- H		
全 幅	124	40			mm				8		
全高	17	75			mm				e		
		-				1	· · ·		Market Services		
	全	遊動式力	水平尾翼	翼によ		い滑空性能					
空虚重量		182		グラ	ム注	1:離陸重量 2:飛行船の	から救援)場合はへ	物資とペイルリウム浮力を	ロードの重 を除く.	量を除いた重量	
バッテリー 重心位置		Li-Po,				Ni-MH,	□ Li-		ル数:	2 セノ	レ
(救援物資除く)		前縁			に, (尾翼		方向へ(80) mm	
	責と翼面荷重 はガス容積を記	l l	翼面積:		32.9		n², 翼面 ス容積 :		5.5	グラム/di m ⁵	
	PALITATO SALAN SAL										
全計画から	開発までの期間	引: 約	1	7	週間		約	30	時間		

「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.」

			/山(み礼戦とり(こ)		
	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船			
種類	2) オリジナル性 〇×				
重	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
//	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe:2セル以下(3.3V/セル)
ĺ	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック, 接着不良, 取り付け不 良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 ○×				
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認
8	その他(備考)				
9	機体審查結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (一般)

	_	エントリー部門		1	П	「一方人 (一方文)					
		一般部門		所属	横浜国	国立大学					
					(フリカ	<i>iナ</i>) ヤル	シックス				
予選	飛行順	決勝飛行順	登録 No	機							
;	5		3	一体 名	YAL	νI					
				•	機体	諸 元					
種類		行機 転翼機(主回転3 行船(浮揚ガス)									
全 長 全				970	mm		The same of the sa				
全 幅				910	mm						
全高	全 高 				mm						
				1							
		翼弦長を長	:くすることで	、より			生させることに				
空虚	重量		17	70 グラ	ラム ^注	1 : 雕屋重 2 : 飛行船の	量から救援物資と の場合はヘリウム	こペイロ ム浮力を	ードの重! 除く.	量を除いた	工重量.
バツ	テリー	種類: ■	Li-Po, □	Ni-Co	վ, □	Ni-MH,	□ Li-Fe	セル	数:	9	2セル
	が世間 対資除く)	(機首	先端)を	基準に	۲, (機尾)方向	~ (362	,) mm
		し翼面荷重 はガス容積を記	主翼面積載)	:			翼面荷重: バス容積:		7.1	. 7 グラ <i>.</i> 1	dm ² m ³)
								N. N	7.24.30		
全記	十画から	開発までの期間]: 約	17	週間	試験・	練習総飛行時	捫:	約	18	時間

				審査結果		
	機体審查項目	練習前		予選前	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機□ 回転翼機□ 飛行船		7 2014	0 000113	
種類	2) オリジナル性 ○×					
重	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く		g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 〇×					電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×					留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
73	3) 絶縁 ○×					絶縁皮膜の徹底
4 バー	1) 種類	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe		□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	t	ミル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
Î	3) 残量・劣化具合 〇×					膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
h	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×					制御不能時の機体が周囲に危害 を与えにくい対策されているか.
	2) 組立•装備状態安全 性 ○×					クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×					ラジコン専用周波数
	2) 送受信部改造無し ○×					プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
\vdash	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×					緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 ○×					
. /	推進系統全開,フル操 作の安全性 〇×					ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで、全機機能し、安全上の問 題が無いことを確認、
8	その他(備考)					
9	機体審査結果 〇×					

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (一般)

	j	エントリー部門]		員	京京都	了 立 産業技	術高等	 車門学	 经校	
		一般部門		属							
子選飛	於子順百	決勝飛行順	登録 N	機	(フリカ	ナ)エン	プレス				
7			5	体 名			emp	res	S		
				杉	幾体諸	元					
種 類 		そ行機 回転翼機(主回車 そ行船(浮揚ガス		ムガスに限	る)						
<u>長</u> 全				61	0mm						
幅				114	0mm		Marian	Mir. (4) server	Acide Tif		
全高				31	0mm		1.11		1		
		Hausaan	おそらく世	界初の全様	造がイ 、	ンフレー	タブルな飛行				
空虚	重量			185.0 グ	ラム 注	1:離陸	重量から救援物資 船の場合はヘリウ	とペイロード	の重量を関	秋 た重量.	
バッテ		種類: ☑	ZLi-Po,	□ Ni-Cd,	1.1.	Vi-MH,		セル数:		セル	
重心的		(主翼	翼根前縁) <i>を</i>	基準に,	(機尾)	方向へ(110) mm	
È	E翼面積	と翼面荷重 はガス容積を記	主翼武載)	面積:	48.4	(オ	dm²,翼面荷 ブス容積 :	重: 3.96	グラ	ム/dm² m³)	
									900		
全計	一曲から	開発までの期間	引: 約	16	週間	試験	•練習総飛行時	間: 約	15	時間	

了 到7.77%的电效	-タでプロペラを回
1 □ 回転翼機 □ 飛行船 □ 回転翼機 □ 飛行船 □ 回転翼機 □ 飛行船 □ 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図 図	-タでプロペラを回
2 空虚重量 (飛行船は最大長) 達: 離陸重量から救援物資除く g cm g cm g cm g cm g cm g cm g cm g cm em em	-タでプロペラを回
2 空虚車量 (飛行船は170 重 (飛行船は170 重 注: 離陸重量から救援物資除く g g cm cm cm 1) 動力系統種類 電池と電動モーす方式か?(回	-タでプロペラを回
す方式か?(回	
3 の エ カ プロ・シェの	熊翼機は別条件)
型 (全一タ・ノロヘラの) 動 取付・安全性 ○× 付け不良等	クラック、接着・取り
3) 絶縁 ○× 絶縁皮膜の徹底	孟
1)種類	
ッテラファー 2) セル数 セル セル セル セル Li-Fe : 2セル以 リコー 3) 残量・劣化具合 膨脹など劣化や	
	P損傷がみられな)バッテリー残量
	幾体が周囲に危害 策されているか.
機体 2) 組立・装備状態安全性 クラック,接着不良. リンケージの	下良, 取り付け不 の仮止は不可.
1) 2.4GHz (受信機とリンクして確認) ○× ラジコン専用周	波数
6 2) 送受信部改造無し プロポ・データイ 無 〇× 技術適合マーク	
無	かを遠隔操作により きるか・
4) フェールセーフ機 能 O×	
	アーとフル反転状態 数機能し,安全上の問 認、
8 その他 (備考)	
9 機体審査結果 ○×	

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 増け 東本田経 (1987)

				機体審査	韦紙 (一般)	
	エントリー部 一般部門	門	所属		東京農工大学航空研究会	
	河文日刊 1			(フリガナ)	バレイア	
予選飛行 順	決勝飛行 順	登録 No	機体		D 1 '	
8		20	名		Baleia	
	•			機体	諸 元	
種類 全	飛行機 回転翼機(主回 飛行船(浮揚力					
長			12	50 mm		1000
全 幅			6	00 mm		
全 高			4	80 mm		
	T		形た習	現形していたべい	けたことで機動性を高めた飛行船	
空虚重量			レ ビザ 7 グラ	;, 注1:	離陸重量から救援物資とペイロードの重	量を除いた重量.
バッテリ	種類: ☑		Ni-C	任.乙.	飛行船の場合はヘリウム浮力を除く. Ii-MH, D Li-Fe セル数:	2 セル
重心位置 (救援物資際 く)	: (気嚢の	先端 (機首))を <u></u>	基準に, (尾翼)方向へ(500) r	nm
	面積と翼面荷重 船はガス容積を		1積:		dm²,翼面荷重: (ガス容積:	グラム/dm² 0.145 m³)
全計画7	ら開発までの	期間: 約	12	週間	試験・練習総飛行時間: 約	15 時間

重(飛行船は最大長) g g g g g g g	備 考 以下 は 170cm 以下) 動モータでプロペラを回
1) 種類 □ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船 2) オリジナル性 ② ※ 2 200.0g 以 (飛行船は最大長) ま は: 離陸重量から救援物資除く g g g g g	は170cm 以下)
2 空虚重量 200.0g D 重 (飛行船は最大長) g g g 産: 離陸重量から救援物資除く g g g	は170cm 以下)
2 空虚単重 (飛行船は最大長) 重 注: 離陸重量から救援物資除く g g g g	は170cm 以下)
cm cm cm	動モータでプロペラを回
コンゴバルが旧主対 ・ナ方式が	い?(回転翼機は別条件)
3 2) モータ・プロペラの 留具の部分 動力 取付・安全性 〇× 付け不良	段使用,クラック,接着・取り と等
3) 絶縁 ○× 絶縁皮膜	莫の徹底
1	セル以下(3.4~3.7V/セル) でセル以下(1.2V/セル) でセル以下(1.2V/セル)
ッテラリ 2) セル数 セル セル セル セル 3) 残量・劣化具合 膨脹など	セル以下(3.3V/セル)
	※劣化や損傷がみられな 信機のバッテリー残量
5 起部安全性 〇× を与えに	と時の機体が周囲に危害 こくい対策されているか.
	接着不良, 取り付け不ケージの仮止は不可.
1) 2.4GHz (受信機とリンクして確認) 〇×	専用周波数
11/2000年11/10/10 日本	データ伝送送受信器 マークの確認
1 1 0 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	こは動力を遠隔操作により DFFできるか.
4) フェールセーフ機 能 O×	
7 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	マフルパワーとフル反転状態 で,全機機能し,安全上の問 ことを確認.
8 その他 (備考)	
9 機体審査結果 ○×	

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト

				(茂)	件番宜.	用紙 (一般)			
	7	エントリー部門		所	早稲日	田大学			
		一般部門		属	1 1111	<u> </u>			
				Edia	(フリ)	ガナ) ショウ	,		
予選	飛行順	決勝飛行順	登録 N	No 機 体					
1	10 25					翔			
	Г				機体	諸 元			
種類		行機 転翼機(主回転3 行船(浮揚ガス)							
全長				1000:	mm				
全幅				1200	mm				
全高				300:	mm				
		4	削限重量の	の限界まで	一 機体を	大きくした	土 丈夫である		
空虚	重量		2	00 グラム	注	1:離陸重量	量から救援物資と ○場合はヘリウム	:ペイロードの重量:	を除いた重量.
	テリー	種類: ☑ I	Li-Po,	□ Ni-Cd		Ni-MH,	☐ Li-Fe	セル数:	2セル
	が置 対験(く)	機首を基準に	,機尾方	贞~200r	nm				
		と翼面荷重 ガス容積を記載		面積:			² ,翼面荷重: ガス容積:	3.7 グラ	ラム/dm² m³)
∆ ∋1 ==	TALL HEAT	X + TAO HOHH	Wh O THE			77-t-> A=4-E		VA OF N+BB	
全計画	から開発	きまでの期間:	約8週間	削		試験・練習	督総飛行時間	: 約25時間	

「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.

	機体審查項目	 練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機□ 回転翼機□ 飛行船			
種類	2) オリジナル性 〇×				
2 重量	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 〇×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り付け不良等
/3	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po:2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ツテリー	2) セル数	セル	セル	セル	
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良.リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリンクして確認) 〇×				ラジコン専用周波数
6 ===	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 〇×				
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認.
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 増け 東本田経 (1987)

			税	條本番查	用紙(一般)					
	エントリー部門		所							
			属	千葉二	厂業大学					
	一般部門									
	_	_	LAIA	(フリオ	ブナ) シーア	イティーフ	プレーン			
予選飛行順	決勝飛行順	登録 No	機							
11			名	CIT	plane					
11										
				機体	諸 元					
種 🗆	飛行機 回転翼機(主回転	翼を動力駆動	りしない	N\$			1			
	飛行船(浮揚ガス	はヘリウムカ	うなに	限る)						
全長			1114	4mm	3		N. Je	Na		210112
全 幅			962	2mm	11		4	D	67	2/8
全高			1025	5mm		3	14	, ,	77	
			低速		三に飛行でき					
空虚重量		20	00 グラ				物資とペイロー リウム浮力を除		を除いた	た重量.
バッテリー	種類: 🗸	Li-Po, □	Ni-Co	d, 🗆	Ni-MH,	□ Li-	Fe セル	数:	2	セル
重心位置 (救援物資除く	(プロペラの)先端)を基準	善に,	(水平尾	翼) 方向へ	(157)	mm			
	積と翼面荷重 はガス容積を記	主翼面積載)	生:	40		翼面荷		グラム/	∕dm²	m³)
∆≟्रासार्थ र र	BBIX よっつ three		図 の上に を消	面もし、 に貼るか して, /	装置の くは写真 ら,この欄の はめ込む)	文字				
生計 門から	開発までの期間	: 約	2	20 週	試験	練習網	総飛行時間:	約	3	時間

	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	7 7217	0 (03)114	
種類	2) オリジナル性 ○×				
重	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り付け不良等
/3	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられないか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立•装備状態安全 性 ○×				クラック,接着不良,取り付け不良.リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機能 ○×				
7	推進系統全開,フル操 作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問題が無いことを確認.
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト機体審査用紙 (-般)

<u>エントリー部門</u> 所属 秋田工業高等専門学校

一般部門 登録 No Rising Eagle

機体諸元

種 飛行機

乗行機
 □ 転翼機 (主回転翼を動力駆動しないもの)
 □ 飛行船 (浮揚ガスはヘリウムガスに限る)
 全長
 1015mm
 全幅
 390mm







寸法の最適化、二重方向舵の採用により、課題への適応性を向上した。

180 グラム 注1:離陸重量から救援物資とペイロードの重量を除いた重量

空虚重量 | 180 ク フ ム 量

主: 注2:飛行船の場合はヘリウム浮力を除く.

バッテリー 種類: ■ Li-Po, □ Ni-Cd, □ Ni-MH, □ Li-Fe セ

セル数:2セル

重心位置 (救援物資除く) (機首) を基準に,(機尾) 方向へ(240)mm

主翼面積と翼面荷重 (注:飛行船はガス容積を記載) 主翼面積:77.5dm², 翼面荷重 2.3 グラム/dm²

(ガス容積: m³)







全計画から開発までの期間: 約20週間 | 試験・練習総飛行時間: 約100時間

	機体審査項目		<u>面は記載せすに</u> 審 査 結 果	<u>ж</u>	備 考
	1两件由土只口	練習前	予選前	決勝前	Viii J
\vdash	1) 毛米石	□ 飛台則 □ 飛行機	1′)送刊	(人))分別	
1	1) 種類	□回転翼機			
括	2) +112%+1.W+	□ 飛行船			
種類	2) オリジナル性				
\vdash	OX DETE				000 0 1117
2	空虚重量				200.0g以下 (飛行船は170cm以下)
	(飛行船は最大長)	g	g	g	(Mellyglis I I dell S/ I)
重量	注:離陸重量から救援物	cm	cm	cm	
里	資除く				高沙山高利亚 banda 00-b
	1) 動力系統種類				電池と電動モータでプロペラを 回す方式か?(回転翼機は別条
	OX				件)
3	2) モータ・プロ				留具の誤使用、クラック、接着・
動	ペラの取付・安全				取り付け不良等
五	性 o×				
	3) 絶縁				
	о×				
	1) 種類	□ Li-Po	□ Li-Po	□ Li-Po	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セ
4	,,	□ Ni-Cd □ Ni-MH	□ Ni-Cd □ Ni-MH	□ Ni-Cd □ Ni-MH	ル)
	and the second s	□ Li-Fe	□ Li-Fe	□ Li-Fe	Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル)
バッ	2) セル数	セル	セル	セル	Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル) Li-Fe:2セル以下(3.3V/セル)
テ	3) 残量・劣化具				膨張など劣化や損傷がみられな
J 1	合				いか. 送信機のバッテリー残量
'	ОX				
					■ 制御不能時の機体が周囲に危
5	端・突起部安全性。				害を与えにくい対策されているか.
	× XCDDX ELL •				
機体					クラック,接着不良,取り付け不
1/45	態安全性 ox				良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信				ラジコン専用周波数
	機とリンクして確				7 4 4717/41223/
	视 こ フ フ フ し C 確 認) O ×				
	2) 送受信部改造				プロポ・データ伝送送受信器
6	無し				技術適合マークの確認
無	<i>™</i> ∪				
無線方式	3) 非常時 ON-				緊急時には動力を遠隔操作によ
式	OFF				り確実にOFFできるか.
	機能 o×				
	4) フェールセー				
	フ機能 o×				
	推進系統全開,フ				ランダムなフルパワーとフル反転状
_	ル操作の安全性 ・				態の組合せで,全機機能し,安全上
7	×				の問題が無いことを確認.
\vdash	^ その他(備考)				
8	ていた (別年年)				
9	機体審査結果				
	OX				
				Į.	

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト

機体審査用紙 (一般)

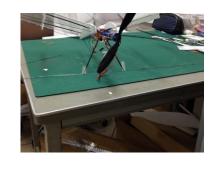
	エントリー部門							
		40.4000			所属	東京	京大学	
		一般部門				(フリ	リガナ) キュータン	
予選飛	行順	決勝飛行順	登録	₹ No	機体			
14	1		1	7	名	Ky	yutan	
					機化	▲ 諸	· 元	_
種類		を行機 回転翼機(主回軸 を行船(浮揚ガン			しないも	の)		
全 長 全					1090 r	nm		
全 幅					1510 r	nm		
全高	340 mm							
				逆ガル蚤	翼で機動	生を重	重視した高速機	
空虚重	量			18	80 グラ	ム !	注1:離陸重量から救援物資とペイロードの重量を除いた重量. 注2:飛行船の場合はヘリウム浮力を除く.	
バッテ	リー	種類: ▼	ZLi-Po,	□ N	Ji-Cd,		Ni-MH, □ Li-Fe セル数: 2 セル	_
重心化(救援物資		(前縁) を	基準に,	(後	· 縁)方向へ(120) mm	_
主	翼面積。	と翼面荷重 ガス容積を記載		翼面積:	43.2	dm²,	² , 翼面荷重: 4.2 グラム/dm ² (ガス容積: m³)	
						G		A CONTRACTOR OF THE PERSON OF
全計画	から開	発までの期間	: 約		18	週間	試験・練習総飛行時間: 約 2 時間	

「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.」

1 1)	機体審査項目	練習前		審査結果	1	備 考
1)	1年2年				VIRI 175	
		□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船			0 400,111	
種 2))オリジナル性 ○×					
重	虚重量 飛行船は最大長) : 離陸重量から救援物資除く		g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
) 動力系統種類 ○×					電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
) モータ・プロペラの x付・安全性 ○×					留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
3)) 絶縁 ○×					絶縁皮膜の徹底
4 バ) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe		□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッ テ リ 1	・セル数		セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
3))残量・劣化具合 ○×					膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5 起)進行方向の先端・突 部安全性 ○×					制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機 体 性	組立•装備状態安全 〇×					クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
) 2.4GHz(受信機とリ √クして確認) ○×					ラジコン専用周波数
) 送受信部改造無し ○×					プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
\vdash	非常時 ON-OFF 能 ○×					緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
)フェールセーフ機 E OX					
1/	能系統全開,フル操 ミの安全性 ○×					ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで、全機機能し、安全上の問 題が無いことを確認.
8 7	この他(備考)					
9 機	後体審査結果 ○×					

		:			飛行ロボットコンテスト 用紙 (一般)	
		エントリー部門 一般部門		所属	鳥取大学工学部機械工学科	
予選飛		決勝飛行順	登録 No	機	(フリガナ)オヌスタム	
1		0 (A)37 (R) 37 (V)	112741110	体 名	ONUSTAM	
	_			機体	諸 元	
種 類			を動力駆動しない ヘリウムガスに限			
全 長			9 3 4	mm		
全幅			1 4 1 5	mm		
全 高			3 2 6	mm		
			円弧翼と	こガルを	を使用した主翼	
空虚	重量			195 /	注1:離陸重量から救援物資 ブラム 量. 注2:飛行船の場合はヘリ	資とペイロードの重量を除いた重 ウム浮力を除く.
バッテ		種類: ■	Li-Po,	Cd,	□ Ni-MH, □ Li-Fe	セル数:2セル
重心的	資除く)		を基準に、(機軸)	方向へ	(255) mm	
		と翼面荷重 ガス容積を記載)	主翼面積:	38.36d	m²,翼面荷重:5.1 グラム/dr	${\sf m}^2$







全計画から開発までの期間: 約16週間 約30時間 試験・練習総飛行時間:

1	機体審查項目	◇井辺辺→台	審査結果	1	/ +1: -1/ .
1		7宋 台 川	習前 予選前 決勝前		備 考
1)種類	□ 飛行機□ 回転翼機□ 飛行船	3 ~~133	0 (33)11.4	
種 2	2) オリジナル性 ○×				
重 (巴虚重量 (飛行船は最大長) ::離陸重量から救援物資除く	g cr	g n cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 〇×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
3	B) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ —	.) 種類 	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ツテ 2 リー 3	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
3	8) 残量・劣化具合 〇×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5 走)進行方向の先端・突 記部安全性 ○×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機 2	2) 組立·装備状態安全 生 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
	l) 2.4GHz (受信機とリ レクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
\vdash	8) 非常時 ON-OFF 幾能 〇×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
4) 能	l) フェールセーフ機 能 ○×				
'/	推進系統全開,フル操 作の安全性 ○×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで、全機機能し、安全上の問 題が無いことを確認.
8 7	その他(備考)				
9	幾体審査結果 ○×				

60 時間

		第11回全日		生室内飛行ロボットコンテスト 本審査用紙 (一般)
	エントリー部門 一般部門		所属	名古屋大学
				(フリガナ)
予選飛行順	決勝飛行順	登録 No	機体	N T A T TT T C
12		9	名	NAVIX - f
				機 体 諸 元
 		図タ ギに上げぎに		
翔	転翼機(主回転			
	終行船(浮揚ガス)	はヘリワムカノ		
全 長 全				Omm
全幅			1183	3mm
全高			448	5mm
	翼端に	.回転翼を	/哲	置したオートジャイロ機
空虚重量		178 グ [・]	ラム	注1:離陸重量から救援物資とペイロードの重量を除いた重量. 注2:飛行船の場合はヘリウム浮力を除く.
バッテリー	種類: 🗸	Li-Po, □	Ni-C	d, \square Ni-MH, \square Li-Fe セル数: 2セル
重心位置 (救援物資除く)	(翼前縁)を	・基準に,(尾翼	(方向)) 方向へ (0) mm
	責と翼面荷重 はガス容積を記	主翼面積載)	:	27dm², 翼面荷重:6.6 グラム/dm²(ガス容積:m³)
				ESS 10 200 personal and a second a second and a second and a second and a second and a second an

試験・練習総飛行時間: 約

20 週間

約

全計画から開発までの期間:

	機体審査項目	 練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	7.2	0 (3)11.4	
種類	2) オリジナル性 〇×				
2 重量	空虚重量 (飛行船は最大長) 注: 離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) 〇×				ラジコン専用周波数
6 ##	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3)非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 〇×				
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問題が無いことを確認.
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (一般)

エントリー部門	門学校					
LUC TO THE TOTAL TOTAL TO THE THE TOTAL TOTAL TO THE TOTAL TO THE TOTAL TO THE TOTAL TO THE TOTA						
+666	,					
予選飛行順 決勝飛行順 登録 No 機						
17 Noob1						
機体諸元						
種 類						
全 長 900 mm	1000					
全 幅 1100 mm						
全 高 260 mm						
熱線カットにより主翼を正確に切り出した						
空虚重量 157 グラム 注1: 離陸重量から救援物資とペイロー 注2:飛行船の場合はヘリウム浮力を除	・ドの重量を除いた重量. <く.					
バッテリー 種類: ☑ Li-Po, □ Ni-Cd, □ Ni-MH, □ Li-Fe セル数	女: 2 セル					
重心位置 (救援物資除く) (主翼前部)を基準に,(機尾)方向へ(160) mm					
主翼面積と翼面荷重 主翼面積: 26.4 dm², 翼面荷重: 5. (注:飛行船はガス容積を記載) (ガス容積:	95 グラム/dm² m³)					

	機体審査項目	 練習前	審 査 結 果 予選前	決勝前	備 考
	1) 毛籽	□ 飛行機	」/法則	次勝則	
1	1) 種類	□ 回転翼機			
錘	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	□ 飛行船			
種類	2) オリジナル性				
	OX				
2	空虚重量				200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
垂	(飛行船は最大長)	ď	C.	C.	(元1 Jhi/4 I 7 UCM 以下)
重量	注:離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	
	1) 動力系統種類	CIII	CIII	CIII	電池と電動モータでプロペラを回
	(X				す方式か?(回転翼機は別条件)
3	2) モータ・プロペラの				留具の誤使用、クラック、接着・取り
動	取付・安全性 〇×				付け不良等
方	3) 絶縁				
					絶縁皮膜の徹底
	1) 種類	☐ Li-Po	☐ Li-Po	☐ Li-Po	
4	1/ 主次	□ Ni-Cd	□ Ni-Cd	□ Ni-Cd	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル)
		□ Ni-MH □ Li-Fe	□ Ni-MH □ Li-Fe	□ Ni-MH □ Li-Fe	Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル)
バッ	\				Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
リ 	3) 残量・劣化具合				膨張など劣化や損傷がみられな
	OX				いか. 送信機のバッテリー残量
	1) 進行方向の先端・突				制御不能時の機体が周囲に危害
5	起部安全性 〇×				を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立•装備状態安全				クラック,接着不良,取り付け不
14	性 〇×				良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ				ラジコン専用周波数
	ンクして確認) 〇×				
6	2) 送受信部改造無し				プロポ・データ伝送送受信器
/III:	OX				技術適合マークの確認
線	3) 非常時 ON-OFF				緊急時には動力を遠隔操作により
無線方式	機能				確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機				
	能 OX				
_	推進系統全開、フル操				ランダムなフルパワーとフル反転状態
7	作の安全性 OX				の組合せで,全機機能し,安全上の問題が無いことを確認.
	7 0 110 (144-41)				
8	その他(備考)				
	機体審査結果				
9	OX				
-					

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (一般)

3	エントリー部門 一般部門		所属		業能力開		付属青森耶	職業能力開	界発短期 大	学校	
			100	(フリカ	ナ) アイン	/ス					
予選飛行順	決勝飛行順	登録 No	機								
18			名								
				機体	諸 元						
種 □ 回 類 ☑ 飛 全 長	行機 転翼機(主回転3 行船(浮揚ガス)		マに限 110			3					
幅						0				7	
全 高			84	0mm		1		9	G V A		
機体の幅が広いため空気抵抗が大きく、自由落下時の速度が遅く接地までの時間が長い。											
空虚重量		62	9 グラム 注1:離陸重量から救援物資とペイロードの重量を除いた重量. 注2:飛行船の場合はヘリウム浮力を除く.								
バッテリー			Vi-Cd		Ni-MH,	の場合はへ □ Li-l		を除く ル数:	2	セル	
重心位置		中心)を基準			•	(50) mm					
(救援物資除く) 主翼面積	 	主翼面積				\mathbf{n}^2 ,翼面都			グラム	/dm²	
	はガス容積を記					容積:			0.6	m³)	
A3171 > 50	TV-k				ADEA 24	ADJON TO 1	n+88		10	n.Lee	
全計画から開	発までの期間:	約 16	5	週間	試験・練	習総飛行	時間:	約	10	時間	

「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.」

	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機□ 回転翼機□ 飛行船	7 200	V (10) 13·3	
種類	2) オリジナル性 ○×				
重	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く	g cr	_	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用,クラック,接着・取り 付け不良等
73	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li·Po ☐ Ni·Cd ☐ Ni·MH ☐ Li·Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	レセル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
ĺ	3) 残量・劣化具合 〇×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立·装備状態安全性 ○×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
\vdash	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 ○×				
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認.
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (一般)

	ž	エントリー部門 一般部門			所属		工科大学						
		/3XHM 1				(フリカ) ナ) エー	シニダエ					
予選用	附侧	決勝飛行順	登録	: No	機体								
1	9				名	A	eshnida	ae					
						機体	諸 元						
種類		行機 転翼機(主回転 行船(浮揚ガス)											
全長					900	mm				THE WAY			
全幅				1	198	mm							
全高					417	mm				10			
	翼に高知県の特産品、土佐和紙を使用。												
空虚	重量			174	グラ			量から救援物資と の場合はヘリウム		重量を除いた	と重量.		
バッラ	テリー	種類: ☑	Li-Po,	□ N	Ji-Cd		Ni-MH,	☐ Li-Fe	セル数:	2	セル		
重心(救援物	位置 資除く)	(機首先	端)	を基準	善に,	(機尾)方向へ(283) mm			
Ë	主翼面積	る はガス容積を記		翼面積	:	36.4	dm², 翼	面荷重 : ブス容積 :	4.78	グラム/d	m ² m ³)		
				- 0	-	3			Li-Po 500-Battery Con 2 Wast Read Safety Instr	YMAX° Contravior 74: 33/h23 COBurel 400 uctions and Warnings before u			
全計	画から開	発までの期間	: 約	36	3	週間	試験・総	東習総飛行時間	引: 約	20	時間		

1 1)	機体審査項目	練習前		審査結果	1	備 考
1)	1年2年			予選前	決勝前	VIRI 175
		□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船			0 400,111	
種 2))オリジナル性 ○×					
重	虚重量 飛行船は最大長) : 離陸重量から救援物資除く		g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
) 動力系統種類 ○×					電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
) モータ・プロペラの x付・安全性 ○×					留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
3)) 絶縁 ○×					絶縁皮膜の徹底
4 バ) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe		□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッ テ リ 1	・セル数		セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
3))残量・劣化具合 ○×					膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5 起)進行方向の先端・突 部安全性 ○×					制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機 体 性	組立•装備状態安全 〇×					クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
) 2.4GHz(受信機とリ √クして確認) ○×					ラジコン専用周波数
) 送受信部改造無し ○×					プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
\vdash	非常時 ON-OFF 能 ○×					緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
)フェールセーフ機 E OX					
1/	能系統全開,フル操 ミの安全性 ○×					ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで、全機機能し、安全上の問 題が無いことを確認.
8 7	この他(備考)					
9 機	体審査結果 ○×					

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト

機体審査用紙 (一般)

Š	エントリー部門				11/124 (150)							
			所属	東海力	六学							
	一般部門		-	(-) 11 -1	81) b.9- b . 9							
予選飛行順	決勝飛行順	登録 No	機	(フリス	iナ) ファンタジスタエボ 							
1. 医水门顺	(人)的形门順	亞派(110	体	Fore	tacisto Essa							
16			名	ran	tasista_Evo							
				機体	諸 元							
世 類 □ 無 □ 飛	行機 転翼機(主回転う 行船(浮揚ガス)				provide and a second a second and a second a							
全 長 全		12	250	mm								
全 幅		15	300	mm								
全 高		2	290	mm								
運動性が良く、低速性能も良い機体												
空虚重量		175	グラ	ラム 注	E1:離陸重量から救援物資とペイロードの重量を除いた重量. E2:飛行船の場合はヘリウム浮力を除く.							
バッテリー	種類: ☑]	Li-Po, □ N	Vi-Cd		Ni-MH, □ Li-Fe セル数: 2 セル							
重心位置 (救援物資除く)	(前縁)	を基準に,(尾翼)方	前へ(120) mm							
主翼面積	ると翼面荷重 はガス容積を記	主翼面積載)	:	28.9	dm², 翼面荷重: 5.71 グラム/dm² (ガス容積: m³)							
				11								
全計画から開	発までの期間:	約 10)	週間	試験・練習総飛行時間: 約 8 時間							

		疋山			
	機体審査項目	練習前	審 査 結 果 予選前	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	1 12111	VVIIII	
種類	2) オリジナル性 〇×				
重	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く	g C	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
7,	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	☐ Li·Po ☐ Ni·Cd ☐ Ni·MH ☐ Li·Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li·Po ☐ Ni·Cd ☐ Ni·MH ☐ Li·Fe	Li-Po:2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテ	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe:2セル以下(3.3V/セル)
J	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられないか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立•装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不 良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機能 ○×				
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査 田紙 (二郎)

						饿冲番:	企用紙 (-	般)					
		エントリー音 一般部門			所属	帝京力	大学						
						(フリカ	ブナ) サテ	ジスバージョンス!	J-				
JI	飛行 頁 1	決勝飛行順	登録	: No	機体名	サテ	・ジス v	er.3					
			<u> </u>			機	体 諸 元						
種類	□ の)	飛行機 回転翼機(主 飛行船(浮揚				いも	, HD 90	1					
全 長 全					1200	Omm							
幅					1700	Omm	nm						
全高	Ц.				500	Omm							
		^				3/-		飛行する全翼機 量から救援物資と			吟いた舌具		
	重量		300 グ	ラム(電池含む	(2)	E.1 : 無田至り E.2 : 飛行射	B里から秋仮物質と Hの場合はヘリウム	浮力を除っ	トの里里をく.	赤V ソC <u>里</u> 里・		
バッ	テリー	種類:	🗷 Li	-Po,	□ Ni	·Cd,	□ Ni-M	ſH, □ Li-Fe	; t	ジン数:	2セル		
(救援)	位置 物資除 ()	,)を基	生準に,	(機首)方向へ(100)	mm		
	飛行船	と翼面荷重 沿はガス容積 載)		翼面積:			dm²,	翼面荷重: (ガス容積:		グラ	ム/dm² 0.30 m³)		
Λ₃Li	画から	開発までの		41	0.	0 週間	2.PR-2.	1・練習総飛行時		TAV SOCIAL SS	3時間		
王計	四いり	刑: おくじり	別用: 作	ドソ	2	ひプリ自	1 武物	。"称"百术动"(1)「时	r 月] :	J	3 時间		

3	をm以下) タでプロペラを回転翼機は別条件) クラック、接着・取り
1 種類 □ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船 □ 型 200.0g 以下 (飛行船)は最大長) 産主: 離陸重量から救援物資除く cm cm cm で で で で で で で で で で で で で で で	タでプロペラを回 転翼機は別条件)
2 空虚重量 (飛行船は最大長) 注: 離陸重量から枚援物資除く g cm g cm g cm g cm g cm g cm g cm a cm 電池と電動モー 寸方式か?(回 留具の誤使用, 付け不良等 3 2) モータ・プロペラの 取付・安全性 留具の誤使用, 付け不良等 会検表皮膜の徹底 1) 種類 口 Li・Po 口 Li・Po 口 Li・Po 1) 種類 口 Li・Po 口 Li・Po 口 Li・Po	タでプロペラを回 転翼機は別条件)
2 空虚車量 (飛行船は最大長) (飛行船は170cm 直 注: 離陸重量から枚援物資除く g cm g cm 1) 動力系統種類 電池と電動モーナ方式か?(回) 2) モータ・プロペラの取付・安全性 留具の誤使用、付け不良等 3) 絶縁 ○× 組縁皮膜の徹底 1) 種類 □ Li・Po □ Li・Po □ Li・Po □ Li・Po □ Li・Po	タでプロペラを回 転翼機は別条件)
3	転翼機は別条件)
動力 2) モータ・プロペラの 取付・安全性 留具の誤使用, 付け不良等 3) 絶縁 ※ 1) 種類 □ Li・Po □ Li・Po □ Li・Po □ Li・Po □ Nr の □ Nr の	クラック,接着・取り
3) 絶縁	
17 (1±55)	Ē.
4 □ Ni-MH □ Ni-MH □ Ni-MH Ni-Cd: 7セル以 □ Li-Fe □ Li-Fe Ni-MH: 7セル以 Ni-MH: 7セル Ni-MH: 7・MH: 7・	F(1.2V/セル)
ッテップラー 2) セル数 セル セル セル セル Li-Fe :2セル以下 3) 残量・劣化具合 膨脹など劣化や	ド(3.3V/セル)
3) 残量・劣化具合 ○× 膨脹など劣化や しか、送信機の	損傷がみられな バッテリー残量
1) 進行方向の先端・突 制御不能時の機 5 起部安全性 〇×	後体が周囲に危害 策されているか.
機体 2) 組立・装備状態安全性 クラック,接着不良. リンケージの	
1) 2.4GHz (受信機とリンクして確認) ○×	皮数
6 2) 送受信部改造無し プロポ・データ伝 技術適合マーク	
無線 3) 非常時 ON-OFF 機能	」を遠隔操作により きるか.
4) フェールセーフ機 能 〇×	
1中 中京 中 中 中 中 中 中 中 中	フーとフル反転状態 機能し,安全上の問 認.
8 その他 (備考)	
9 機体審査結果 ○×	

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体電本界線 (***)

			機体審査	用紙 (一般)						
	エントリー部門 一般部門		所属人留							
				ガナ) フィオ	・レンティーナ					
予選飛行順 22	決勝飛行順	登録 No 7	機 体 名 Fio	体 D:						
	•		機体	諸元						
■ 種	そ行機 回転翼機(主回転3 そ行船(浮揚ガス)	はヘリウムガス 7		-						
全			2 3 0 mm							
高			, 3 0 111111							
			:		実機であること。 量から 数据数数ない	° / - I'n = I'n = I	1 + R\(\dagger_1 \rangle_2\)	£1.		
空虚重量		198	8グラム	主1: 離陸重 主2: 飛行船(量から救援物資とく の場合はヘリウム?	ペイロードの重量 孚力を除く.	を除いた	三重量.		
バッテリー	種類: ■	Li-Po, \square N	Ni-Cd,	Ni-MH,	□ Li-Fe	セル数:	2	セル		
重心位置(救 援物資除く)		前縁)を基準	生に, (後ろ)方向へ	(70)	mm			
	債と翼面荷重 船はガス容積を言 載)	主翼面積	: 41. 4		面荷重:4. 78 ガス容積:	3 グラム/d	m ²	m³)		
全計	├画から開発まで	の期間: 約	11 週間		試験・練習約	総飛行時間:	約	4 時間		

)面は記載せずに <u>1</u> 審 査 結 果	<i>ж</i> ш	
	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	V (C.17.)	0 30314 3	
種類	2) オリジナル性 ○×				
2 重量	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資 除く	g c m	g c m	g c m	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
0	1) 動力系統種類 〇×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラ の取付・安全性 ○×				留具の誤使用、クラック、接着・取り 付け不良等
73	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po:2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリ	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
ĺ	3)残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられない か. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・ 突起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害 を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立・装備状態安 全性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
	1)2.4GHz (受信機と リンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
6 ##	2)送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3)非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 ○×				
7	推進系統全開,フル操 作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 ○×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機休宝杏田紙 (一般)

			1及[10000000000000000000000000000000000000	和(一般)				
	エントリー部門 一 舟殳吉 [5]門		所属			金沢工	業大学		
	川又口り	1		(フリカ	·ナ)	イーグル	イレブン		
予選飛行順	決勝飛行順	登録 No	- 機 - 体		eagle11				
23		3	名						
			,	機体調	者元				
種 □ □ □	終行機 回転翼機(主回転 終行船(浮揚ガス							50 de 100 de	
全 長			96	1mm		TO THE REAL PROPERTY.			
全 幅			120	0mm					
全高			41	5mm					
			折り曲に	ず翼を 掠	※用してい	1 3			
空虚重量			164 グラ	ラム ^注 注	1:離陸重 2:飛行船	重量から救援物資 & 品の場合はヘリウム	こペイロードの重量 A浮力を除く.	量を除いた重量.	
バッテリー	種類: ☑	l Li-Po, □	Ni-Cd,	, 🗆	Ni-MH,	□ Li-Fe	セル数:	2セル	
重心位置 (救援物資除く)	(主翼前	前縁部分)	を基準	に, (機尾)方向へ(102.5)	mm	
	責と翼面荷重 はガス容積を記	主翼面積載)	! :			翼面荷重: ガス容積:	3.9 グラ	ラム/dm² m³)	
◆計画(か)	の開発までの期	間: 約	1	0 週間	計能為	練習総飛行時	間: 約	10 時間	
上口 凹// 1/	ハハリノレ ひ く Vノナダリ	H1 • W Λ	1	O VIIII	中心火		H1 • N-7	TO H2111	

「本書式は全2ページです.越える場合は各ページの表の幅を適宜修正してPDFで2ページに収めること.」

	機体審査項目	 練習前	審査結果	決勝前	備 考
1	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船	7.2	0 (3)11.4	
種類	2) オリジナル性 〇×				
2 重量	空虚重量 (飛行船は最大長) 注: 離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用, クラック, 接着・取り 付け不良等
/3	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害 を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立·装備状態安全 性 〇×				クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) 〇×				ラジコン専用周波数
6 無	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 〇×				
7	推進系統全開,フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問題が無いことを確認.
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (一般)

エントリー部門				神奈川工	科大学航空码	研究部					
一般部門			属	(フリガナ) サミヅキツー							
予選飛行 決勝飛行 登録 No			機		, , , , , ,						
順順			o 体 名	さみづ	き弐						
				711							
					機	体諸元					
■ 飛行機 □ 回転翼機(主回転翼を動力 類 □ 飛行船(浮揚ガスはヘリウム る)											
全長					800mm						
全	全 幅 全				1150mm						
全高					340mm						
同											
			前年の村	幾体より			やすさを重				
空	虚重量		1	78 グラ	ム 注1: 注2: ヺ	推陸重量からす 後行船の場合に	数援物資とペイ はヘリウム浮力	イロードの重 りを除く.	量を除い	た重量.	
	ァテリー		■ Li-l		□ Ni-Cd, Li-Fe	□ Ni-MI	I, 🗆	セル数	ζ: 2	: t	フレ
	心位置 物資除		!ペラ)	を基準に	こ, (後)方向へ	(340) mm	1		
		積と翼面荷		主翼面	積:	82.225		翼面荷重	1: 2.1	16 グラ	ム/dm²
(注:	飛行州	はガス容積	(ど記載)				ガス容積	:			m ³)
1					Y A			SSC III	Pac Gradh 17.4V		
全	計画か	ら開発まで	の期間:	約	5	試験	練習総飛行	宁時間:	約	2	時間

週間

機体審査項目 練習前 1) 種類 □ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船 2) オリジナル性 □ × 2 空虚重量	審査結果	決勝前	備 考
1 □ 回転翼機 □ 飛行船 □ 図			
2 空虚重量			
重 (飛行船は最大長) 量 注: 離陸重量から救援物資除く cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
1) 動力系統種類 〇×			電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 2) モータ・プロペラの 動 取付・安全性 ○×			留具の誤使用, クラック, 接着・取り付け不良等
3) 絶縁 ○×			絶縁皮膜の徹底
1) 種類	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	☐ Li-Po ☐ Ni-Cd ☐ Ni-MH ☐ Li-Fe	Li-Po:2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd:7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテ 2) セル数 セル	セル	セル	Li-Fe :2セル以下(3.3V/セル)
リ 3) 残量・劣化具合 ○×			膨張など劣化や損傷がみられな いか. 送信機のバッテリー残量
5 1)進行方向の先端・突 起部安全性 〇×			制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機 2) 組立·装備状態安全 性 ○×			クラック,接着不良,取り付け不良. リンケージの仮止は不可.
1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) 〇×			ラジコン専用周波数
6 2) 送受信部改造無し 無 ○×			プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無 線 3) 非常時 ON-OFF 大 機能 〇×			緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
4) フェールセーフ機 能 ○×			
7 推進系統全開,フル操 作の安全性 〇×			ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認。
8 その他(備考)			
9 機体審査結果 ○×			

第11回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト 機体審査用紙 (一般)

	エントリー部門	1			124 (132)						
一般部門			所属	日本大学							
				(フリガナ) リーベレン・フィフティーン							
予選飛行順 決勝飛行順 登録 No		機体									
	21			Libellen-15							
	· MA		機	体計	新元 ———	5401					
本 目	機 翼機(主回転翼 船(浮揚ガスは	ヘリウムガス	に限る	5)		V.		-			
長		8	880 n	30 mm							
全幅		12	240 n	40 mm							
全高		1	l85 n	nm	1/						
	することで構造			.\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	, 旋回や宙返						
空虚重量		170 ク		注2	:飛行船の場合	はヘリウム浮力		単で別い	/こ里里		
バッテリー	種類: ☑ Li	-Po, □ Ni-	Cd,	□ N:	i-MH, □ I	i-Fe セル	数:	2	セル		
重心位置 (救援物資除く)	(機首	先端)を	基準に	Ξ, (機尾)方向へ	(32	20) mm		
主翼面積と翼面荷重 主翼面積: 28.33 dm², 翼面荷重: 6.00 グラム/dm (注:飛行船はガス容積を記載) (ガス容積: m³								/dm ² m ³)			
全計画から開	発までの期間:	約	21	週間	試験・練習総	流行時間:	約	38	時間		

	機体審査項目	練習前	審査結果	決勝前	備 考
1 種類	1) 種類	□ 飛行機 □ 回転翼機 □ 飛行船		- 100	
	2) オリジナル性 ○×				
重	空虚重量 (飛行船は最大長) 注:離陸重量から救援物資除く	g cm	g cm	g cm	200.0g 以下 (飛行船は 170cm 以下)
	1) 動力系統種類 ○×				電池と電動モータでプロペラを回す方式か?(回転翼機は別条件)
3 動力	2) モータ・プロペラの 取付・安全性 ○×				留具の誤使用,クラック,接着・取り 付け不良等
//	3) 絶縁 ○×				絶縁皮膜の徹底
4 バ	1) 種類	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	□ Li-Po □ Ni-Cd □ Ni-MH □ Li-Fe	Li-Po :2セル以下(3.4~3.7V/セル) Ni-Cd :7セル以下(1.2V/セル) Ni-MH:7セル以下(1.2V/セル)
ッテリー	2) セル数	セル	セル	セル	Li-Fe:2セル以下(3.3V/セル)
1	3) 残量・劣化具合 ○×				膨張など劣化や損傷がみられないか. 送信機のバッテリー残量
5	1) 進行方向の先端・突 起部安全性 〇×				制御不能時の機体が周囲に危害を与えにくい対策されているか.
機体	2) 組立·装備状態安全 性 ○×				クラック,接着不良,取り付け不 良.リンケージの仮止は不可.
	1) 2.4GHz (受信機とリ ンクして確認) ○×				ラジコン専用周波数
6 ==	2) 送受信部改造無し ○×				プロポ・データ伝送送受信器 技術適合マークの確認
無線方式	3) 非常時 ON-OFF 機能 ○×				緊急時には動力を遠隔操作により 確実にOFFできるか.
	4) フェールセーフ機 能 ○×				
7	推進系統全開, フル操作の安全性 〇×				ランダムなフルパワーとフル反転状態 の組合せで,全機機能し,安全上の問 題が無いことを確認
8	その他(備考)				
9	機体審査結果 〇×				